

ふれあいだより

行橋市立稗田小学校 H.22.6.16

去る6月10日(木)4年生32名が、天寿会の方々のご協力のもと、ふれあい体験活動「史跡を見直そう」を実施しました。

活動のめあて

- ◇ 日頃、登下校で何気なく通り過ぎていた校区の史跡を郷土の先人の史跡として見直し、故人に対する親しみや自分たちの住む稗田の地への興味関心を持つ。
- ◇ 史跡の保存に力を入れてこられた天寿会の人々の存在に気づき、清掃活動を通してふれあいの機会を持つ。

晴天の中、学校を出発し、まず、竹下しづの女さんの句碑に着きました。ここでは、教育委員会文化課の中原さんから、句碑に刻まれた作品「緑陰や 矢を獲ては鳴る 白きの」についてのお話を聞きました。その後、天寿会の方々が子ども達のために残しておいてくださった草や葉を拾い、清掃活動をしました。

次に、末松謙澄さんの誕生碑へ移動しました。そこでは、日本の夜明けを支えた立役者である末松謙澄についてのお話を聞いた後、天寿会の方とともに碑の周りの草とりをしました。天寿会の方には、大変お世話になりました。

自分たちの校区に偉大な方がいたことを知り、子ども達は感慨深げでした。子ども達にとっては、先人の素晴らしさと共に郷土を愛する天寿会のみなさんとふれあいを持つ、よい1日となりました。



天寿会 白石会長さんのお話



末松 謙澄 誕生之地碑の清掃

天寿会のみなさん ありがとうございます。



今日、史せきめぐりをして色々なことを学びました。はじめは、竹下しづの女さんの句碑があるところに行きました。なんと、句碑は8トンもあるそうです。岩にはこうきざまれていました。「緑えんや 矢を獲ては鳴る 白きの」この俳句には、だんなさんがなくなって子どもたちをいっしょうけんめい育てていこうという気持ちが込められているそうです。

そして、清掃活動にとりかかりました。わたしは、心をこめて草をぬいたり葉っぱをあつめたりしました。

次に、末松謙澄さんの誕生碑のところに行きました。末松謙澄さんは、村上仏山さんが作った水哉園に通ったそうです。さらに伊藤博文さんと日本をつくったそうです。わたしは、末松謙澄さんが天国でもよろばれるようにきれいにしていねいにしました。

2人と生まれ変わっても稗田で有名な人になってほしいと思いました。

私も末松謙澄さんや竹下しづの女さんのためにも稗田小学校でがんばりたいです。

清掃活動では、天寿会の方に草切りばさみを使わせてもらいました。来たときよりもずいぶんきれいになったのでよかったです。

ぼくも、竹下しづの女さんや末松謙澄さんみたいに「すごい人」になりたいです。

そうじをして、句碑や誕生碑の所がきれいになってよかったです。

竹下しづの女さんの句碑のところでは清掃活動をしました。草をたくさん拾いました。

末松謙澄さんの誕生碑のうらに謙澄さんの家がありました。

こんな偉い人が稗田校区にいてうれしいです。これからも、この2つの場所を大切にしたいです。

竹下しづの女さんは、稗田小学校の先生をしていたそうです。すごいです。次に、末松謙澄さんの誕生の地に行きました。長くて大きな石がありました。

清掃をしました。草をぬいたり落ち葉をひろったりしました。エブがいっぱいになるぐらいありました。

大人になったらこのぐらいすごい人になりたいです。

